



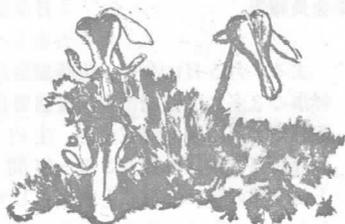
会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



こま く さ

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会 長 鈴 木 善 作
幹 事 高 橋 辰 美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 761 号 1974.7.9 (火) (晴) No.2

会報はご家族みんなで読みましょう

◆出席報告

本日の出席

会 員	数	68名
出 席	数	46名
出 席	率	67.65%

前回の出席

前 回 出 席 率	80.88%
修 正 出 席 数	64名
確 定 出 席 率	94.12%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、森田君、早坂(徳)君、山本(隆)君、石黒君、進藤君、高橋(良)君、黒谷君、嶺岸君、三浦君、三井(賢)君、菅君中江君、齋藤(栄)君、齋藤(信)君、佐藤(伊)君、新穂君、高橋(正)君、津田君、藪田君、高橋(辰)君

メークアップ

早坂(源)君、板垣君、飯白君、今野君、

佐藤(衛)君、三井(徹)君、高橋(正)君、菅原君一鶴岡西RC
笹原君一新潟RC

◆ビジター

原田行雄君、羽根田正吉君、吉川喜一郎君、土井秀夫君一鶴岡RC

◆プログラム

- 点 鐘 鈴木会長 12:30
- ロータリーソング(手に手つないで)
- ビジター、ゲスト紹介、ローターアクトクラブ 会長 大中敬一
- 会長報告
- ゲスト、スピーチ
- 幹事報告
- 委員会報告
- 会長報告

◆会長報告

7月9日

去る7月5日に会長、佐藤副会長、高橋幹事の3名にて鶴岡市長、警察署長、鶴岡駅長鶴工高の阿部清三先生、庄内日報社長等新任の挨拶に廻りこの一年間何にかと御支援の程、宜敷くと御頼みして参りました。

7月7日分区代理の石黒君が福島市で開催の地区委員会に御出席され、次の諸種情報をお受けになって参りましたので例会の際会員の皆様へ報告して下さいと依頼されましたので替って報告させていただきます。

(石黒君は、本日より16日まで飽海地区の公式訪問にガバナーと共に廻るので欠席されたのです。)

◆R・I 規定審議会の決定事項その他について

分区代理 石黒慶之助君

昨日(7月7日)地区役員会に出席し、大原ガバナーより、ミネアポリスにおけるR・I規定審議会の決定事項並びに353地区諮問委員会決定事項などを伝達受けてまいりました。

次に概要を報告致します。

○R・I 規定審議会の決定事項

- ・各R・Cの次期役員を選出は前年12月末まで決定すること。
- ・規定審議会は今まで2年に1回開かれていたが、今年は3年に1回開催することに変更された。
- ・新クラブ創立に当り、区域の委譲を行うことなく同一区域に2つ以上のクラブを結成してもよいことになった。
- ・R・I負担金は来年1月より4弗から6弗に値上げする。

○地区諮問委員会の決定事項並びに地区役員会での報告事項

- ・ロータリー財団の寄付は全日本のR・Cの努力で、米国の水準に達し日本の発言力が強くなった。
- ・早坂P・Gは連絡委員となり国内ロータリー連絡委員会に出席した。そこで「1978年国際大会は東京で開催することに内定した」と報告あった。
- ・ポール・ハリスの根本精神は職業奉仕に重点が置かれていること再認識し、353地区では毎年3月第1進を「職業奉仕強調週間」とすると定めた。各R・Cは必ず有効に活用実施されたい。
- ・R・Iロビンス会長は8月16日、日本を訪問する。東北、北海道の全R・Cの会長、副会長、幹事は8月19日仙台に集まり歓迎の会合を開催する予定(1R・Cより3名位の義務出席)

○R・I第353地区ガバナー表彰の新設

来る10月11日～13日開催の地区大会において、次のようにガバナー表彰を実施する

- (1) クラブ会員……ロータリー歴5年以上
表彰 上、20年10年出席100%である会員、その他特に表彰に値すること
- (2) クラブ表彰……出席、財団、会員増強、奉仕活動、その他特に表彰に値すること
- (3) 事務職員表彰……勤続5年以上
表彰者の選定は各クラブ会長名をもって推せん書を作り、分区代理がこれをまとめ、8月10日までガバナー事務所へ届け出る

以上

張 紹淵 君
山本隆男君
津田晋介君

主 題

○会長監督（S・A・A）の任務は

○職業奉仕の歴史

○“なぜ”ロータリーを諦めないのか

○会場監督（S・A・A）の任務は

- ① 秩序正しく
- ② 品位あって
- ③ しかも能率的なロータリー会合を維持することが出来るように助力して
- ④ クラブの訪問者及び来賓によい印象をあたえるようにすること
- ⑤ クラブの品位及び威信（人間的な重み）を落すことのないように、気をくばることです。

○ 職業奉仕の歴史

ヴァーモントの田舎から出身の若い弁護士の ①ポール・ピー・ハリスさんが、心で話しが出来る友人である、鉱山技師の ②ガスローアさんと洋服商の ③ハイラム・ジョーレさんと石炭商の ④シルベスター・ジールさんが、1905年2月23日に会合してロータリーが出来、お互いの商売を助け合って繁昌させて、高尚な奉仕に重点が置かれるようになり、奉仕の理想を一番最初に実現したのは、馬車用の馬に死なれて困っている、お医者さんに馬車馬を贈ったことでした。

それから、シカゴのロータリークラブが確立されてから、1907年にシカゴ市役所に公共便所を立てたことが文献に書かれてありました。

○“なぜ”ロータリーを諦めないのか、考えて見ましよう。

ロータリーをやめることを決心すると

- ① 年間約 100 時間の個人的な私用時間が浮いて来るし、
- ② 財布は約200ドルも重くなるし、
- ③ 時間こそ多少浮きますが、その反面、失うものは、次のようであります。
- ① 地域社会の運営や事業経営や、市の将来の計画にたずさわっている人々に定期的に例会場で接する楽しみを失うし、
- ② 政治、運輸、製造、小売及び伝達技術に関する新しい知識を修得する機会を失うし、
- ③ 自分自身の問題について、他の職業人と語り合う機会をなくしてしまうし、
- ④ 自分の毎週の日常業務から転換できる楽しみを失うし、
- ⑤ 地元及び世界社会の改善に尽す委員会の一員として、働くことの喜びを失うから、

ロータリーを諦めないのですと、決意をした会員がありました。それは、カナダ、オンタリオ州、ロンドン、ロータリークラブの会員でした。

LONDON, ONT., CANADA

(D-633) 1915, (144)

◆ゲストのスピーチ

百瀬恵美子さん

○略 歴

鶴岡南校卒清泉女子大よりメキシコ大に留学、スペイン語専攻、札幌冬季オリンピックに於て、ボブスレー国際連盟役員の通訳を務めた。今回、日本国内に広くラテン・アメリカを日本国内に広く知らせるために、国連、中南米各国政府の

バックアップで、ラテン・アメリカ観光広報センターが今年8月、東京銀座にオープンすることになって居り初代所長に就任する。

○要旨

私は大学を卒業して10年以上にもなるが、中・南米を起点にして世界各国、又オリンピック、万国博、国際会議などに出席して国際親善を深めて居ります。

日本のロータリーは文化程度の高いアメリカ、ヨーロッパ各国との交流が非常に盛んであるが、これだけではこの社会は成り立って行きません。日本にとって経済発展の相手国となっているのは中・南米、カリブ海諸国となっています。その国々で話されている言葉はスペイン語、或いはポルトガル語であります。スペイン語は今では世界でも重要な第二外国語となって居ります。

中・南米に住む人々は日本人と非常に多くの共通点をもって居ります。民族の根源をたずねますと、やはりモンゴール系で、保守的な生活、子供中心の家庭生活、子供の遊び道具までほとんど似て居ります。

ラテン・アメリカの国々は日本に非常に大きな関心を示して居ります。然し太平洋をはさんで居ることと、経済力の低い国々の人々は日本を訪れる機会は少い訳です。

そこでロータリーを通して、中・南米の人々と前向きに交流を深めて頂き度いと思います。コロンビア、ブラジル、ペルー、ボリビアその他の国々で日本との交流を切に望んで居ります。

その国々してみれば日本との交流のための糸口がないこと、日本がその国々に対して認識がないこともあって、ロータリークラブを通して広くこれ等諸国に目を向けて頂ける様、御協力頂きたいと存じます。

この機会にロータリーを通して親交を深め、又交換留学生の制度を採って頂ければ中・南米の人々、日本の人々にとって非常に有意義なことであると思います。

今回帰って参りましたのも日本人の中・南米に対する認識不足を解消することを目的にして居ります。よろしく御協力下さい。

○質問1

現在の貴方の地位は？

1. ラテン・アメリカ観光広報センター所長
2. 中南米27ヶ国広報センター所長(国連バック)
3. 南アメリカ広報連盟日本支社長

○質問2

事務所の所在地は？

中銀座のカプセルマンションで大変解り易い所にあり、案内図があれば容易に判る所にあります。

○質問3

そこでどの様な資料が得られるか？

民族、習慣、地形、人口、食物、交通機関、文化程度、教育制度等の詳細な説明書と写真があります。

○質問4

コロンビアとの交流についてはコロンビアのロータリー会員の希望か？

ガバナーを中心として、カリ市部(日本人の移住地で現在6,000人口10万程度)に力を入れて居ます。

Cali(カリ)コロンビア

○質問5

交流の方法は？

学生を含む働く青少年を対象とした交流を、望んで居ります。

○質問6

アメリカとの交流はどうか？

語学研修を主としてアメリカ、ヨーロッパとは交換学生の型で行われて居ります。

但し日本を中心とした極東地区とは行われて居りません。

◆幹事報告

(イ) 例会 変更 鶴岡西R・C

時間変更 7月19日クラブ協議会のため
午後4時 ホテル山王閣、
登録料 ¥2,000 寒河江R・C

日時 7月18日の例会をクラブアッ
センブリーの為、7月19日
17時30分 伊勢屋旅館

(ロ) 事務局 移転 東京北R・C

7月1日より千代田区外神田
6～7～1 古屋ビル5階、
日本電設工業城内
TEL 832-8945

(ハ) ビジター費変更 福島北R・C

(旧) 1,000円を
(新) 1,500円

(ニ) 会報 到着 能代南R・C

東京R・C
塩釜R・C

(ホ) インターアクト研修旅行の報告書が来ておりますので閲覧

(ヘ) 第354地区年次大会へのお誘いが青森東R・Cより来ています

(ト)出席報告、その他

◆委員会報告

ローターアクト会長スピーチ

早坂ガバナースピーチ 10月下旬於山形市

安藤定助君

財団へ安藤氏スマイル

◆ローターアクトクラブ会長挨拶

大 中 敬 一 君

皆様お久しぶりでございます。

昨年度より引きつづいて、私が会長を勤めさせて頂くことになりました。インターアクト並びにローターアクトに対して、今年も今後の活動に対して御協力して頂けると云うお話をききまして我々も負けない様に努力して居りますので今後もよろしくお願ひ致します。

◆地区バストガバナー 早坂源四郎君

私とローターアクト会長と今お話しをしましたところ、具体的な問題で考え方が違ったので驚いて居ります。それは何かと云いますと、私がガバナーの末期に今までローターアクトの連合大会を東北全部で行って居りました。今年は秋田で行うことについて、私の方の地区としてはこれを取り止めて地区でやることにしました。

その理由は、今まで連合大会のみを行って居り、地区として全然まとまりがありませんでした。昨年は仙台に行きましただけで、もうなにもやって居りません。

インターアクトは地区として大きくまとまって居ります。その格差がつかまりましたので、思いきって参加しないことを両地区のガバナーに申し入れました。そして了解を得ました。

(赤石、山形西クラブローターアクト委員長)

地区としては山形で今年は10月下旬に行うと云うことを6月中旬地区委員会で決定し、私はこれをガバナー月信に出しておきました。それが全然ローターアクトの会長に連絡していないので会長は秋田の方からも勧誘が来ていること、我々だけ二、三のク

ラブで会合したいと云うことも考えていると云うのですが、この点色々な理由がありまして、やはりクラブから地区、地区から連合という順序があると思います。

この際地区として、まず今年度はまともって頂きまして、それから連合大会の順でお願いしたいと思います。クラブとして参加させることに関しては、地区のローターアクト委員長並びに現ガバナーにおききとお願いしましてクラブのローターアクト委員長は、どうか一つ10月下旬山形で行われる地区の大会にローターアクトクラブ会員が参加する様に御協力願います。

この様に話の行き違いがあることを感じましたので今後はクラブローターアクトクラブとの間に密接な連絡をとって行かれる様御協力下さい。

◆工業高校学生のアメリカ派遣について

安藤 定助 君

学校独自の計画でアメリカへ数人の生徒を派遣したいとのことで、ロータリーの全面的な協力を願いたいとのことで、かねがね色々な下準備をして居りました。これは勿論ポール・パワー氏を通じての話です。ポール・パワー氏よりロングビーチクラブに通じまして、この度ロングビーチクラブの国際奉仕委員長から正式に返事が参りました。

ロングビーチからの派遣は今年はスケジュールの関係で出来兼ねるが、こちらからロングビーチに来られる件については、大歓迎するとのことで準備も進めて居り派遣される学生の氏名、年令、希望、語学の程度を知らせてもらいたいとの手紙が来て居ります。

私は6月で任を終りましたので先日三井

君、国際奉仕、阿部先生と内々の会合を開き、これをどう進めるかと云うことを検討しました。

一つには、学校から正式にプログラムを付けてロータリーにお願いを出してもらうこと。その時点でクラブは委員会に於て検討し委員会からの返事により会長から理事会にはかってその決議が出れば事をすすめることにして居ります。

ロングビーチのクラブにはその結果によってクラブから正式に御礼と今後をお願いをするという形にしたらどうかということを決めてあります。

この先については新年度の社会奉仕特に青少年委員会、国際奉仕委員会の両委員会によって運営をお願い致します。尚理事会、会長の方もその型で受けとめて今後の進歩を計って頂きたいと存じます。

スピーチ等には要旨で結構ですので原稿を会報委員会にお渡し下さい。